



同志社大学における障がいのある学生のキャリア・就職支援

同志社大学キャリアセンターキャリア支援課
キャリア支援係長(今出川)
中本 雅和
国家資格キャリアコンサルタント
キャリアコンサルティング2級技能士
公認心理師



同志社大学
DOSHISHA UNIVERSITY



Concept



公式キャラクター「ひっつー」

同志社大学が障がいのある学生の
キャリア・就職支援について、
どのような考えで、
どのような職員が、
どのような学生に、
どのように支援しているのか、
実例を入れて具体的に伝える。



Contents

同志社大学における 障がいのある学生の キャリア・就職支援

- 理念・方針、学生、体制
- 職員配置・育成
- 支援内容
- 支援学生の声
- これから目指す支援



Contents



- 理念・方針、学生、体制
- 職員配置・育成
- 支援内容
- 支援学生の声
- これから目指す支援



一貫した理念と方針で学生を支援しています

教育理念

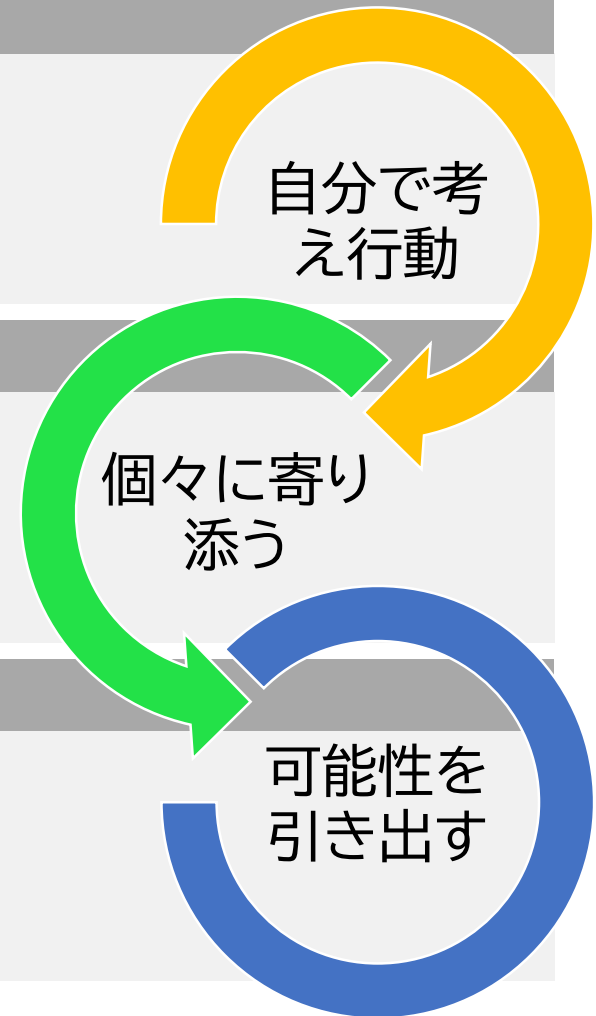
- ・キリスト教主義、自由主義、国際主義
- 自分で考え行動する自治自立の精神

支援理念

- ・学生の自主性を重視
- 選考が通過せず、悩む学生も、、、
- 個々の学生に寄り添った支援

支援方針

寄り添い、考えを受容し、共感的に理解し、
個性を尊重し、可能性を引き出し、
つなぐ支援





精神・発達障がいのある学生の利用が多いです

同志社大学では約28000名の学部生・大学院生が学んでおり、年間延べ約12000名がキャリアセンターの相談を利用しています。

年間キャリアセンターを利用する障がい学生は158名で、内訳は以下の通り。障がい種別では身体障がい39名、精神・発達障がい119名となります。

	障がい者手帳がある (申請中含む)	障がい者手帳がない (不明・未届含む)	計
身体	26人	13人	39人
精神・発達	36人	83人	119人
計	62人	96人	158人



本学の支援体制

今出川

京田辺

所長

課長

就職委員室

専任
職員

5名

特定
業務
職員

2名

契約
職員

3名

アル
バイト

3名

専任
職員

2名

契約
職員

1名

アル
バイト

5名

契約
職員

3名

派遣
職員

1名

アル
バイト

10~
12名

キャリアアドバイザー(外部から派遣) 両校地合わせて 5~12名



Contents



- 支援理念・方針、学生、体制
- **職員配置・育成**
- 支援内容
- 支援学生の声
- これから目指す支援



専門職員配置の経緯と職員育成の目的

専門職員配置の経緯

精神・発達障がいのある学生の相談件数の増加

経験知だけでなく専門知の必要な局面（以下）が増加

精神・発達障がいに関する専門知を前提とした相談

精神・発達障がいのある学生を対象としたプログラムの企画・運営

学内外の精神・発達障がいの専門家との連携

職員育成の目的

支援チーム形成

共通の理解をもって学内外のチームで仕事をする事ができる

より質の高い支援の提供

学生の特性を理解し、寄り添い、就労につなぐことができる



障がい学生支援 チームキャリアサポート！

中本 雅和

- ・専任職員
- ・国家資格キャリアコンサルタント
/キャリアコンサルティング2級技能士
- ・公認心理師

上原 もも

- ・専任職員
- ・国家資格キャリアコンサルタント
- ・公認心理師

佐野 節子

- ・特定業務職員
- ・国家資格キャリアコンサルタント
/キャリアコンサルティング2級技能士
- ・公認心理師/精神保健福祉士

川上 恵

- ・契約職員
- ・国家資格キャリアコンサルタント
- ・公認心理師



障がい学生支援 チームキャリアサポート！



佐野 節子

中本 雅和

上原 もも

川上 恵



Contents



- 支援理念・方針、学生、体制
- 職員配置・育成
- **支援内容**
- 支援学生の声
- これから目指す支援



学生の動きと支援の流れはこうなっています





3つのフェーズで障がい学生を支援します

障がいに
向き合う

第1フェーズ

学生へ自らの特性に気づきを促し、特性について前向きに受け止める支援

将来を
イメージする

第2フェーズ

将来像を描き、自分が働いている姿をイメージする支援

適職に
つながる

第3フェーズ

自主的な行動を促し、選考対策をし、寄り添い、可能性を引き出し、つなぐ支援



支援の3つのフェーズ

第1フェーズ：障がいに向き合う

学生へ自らの特性に気づきを促し、特性について前向きに受け止める支援

第2フェーズ：将来をイメージする

将来をイメージするイメージを描けるよう支援
体験記、プログラム等

第3フェーズ：適職につながる
自主的な行動を促し、選考対策をし、
寄り添い、可能性を引き出し、つなぐ支援



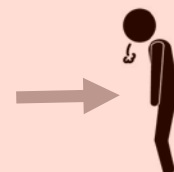
先輩として
在学生をサポート



内定



挫折
不調



就職先が
決まらず
卒業



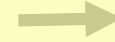
第1 フェーズ：障がいに向き合う



来室



個別相談・アセスメント・プログラム等



気づき・自己理解

学生へ自らの特性に気づきを促し、特性について前向きに受け止める支援

IWI

振返り・励まし・対策



採用選考

IWI

個別相談・選考対策

気づき

職場見学・仕事体験
体験記、プログラム等



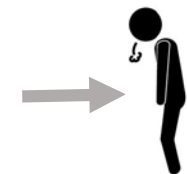
先輩として
在学生をサポート



内定



挫折
不調

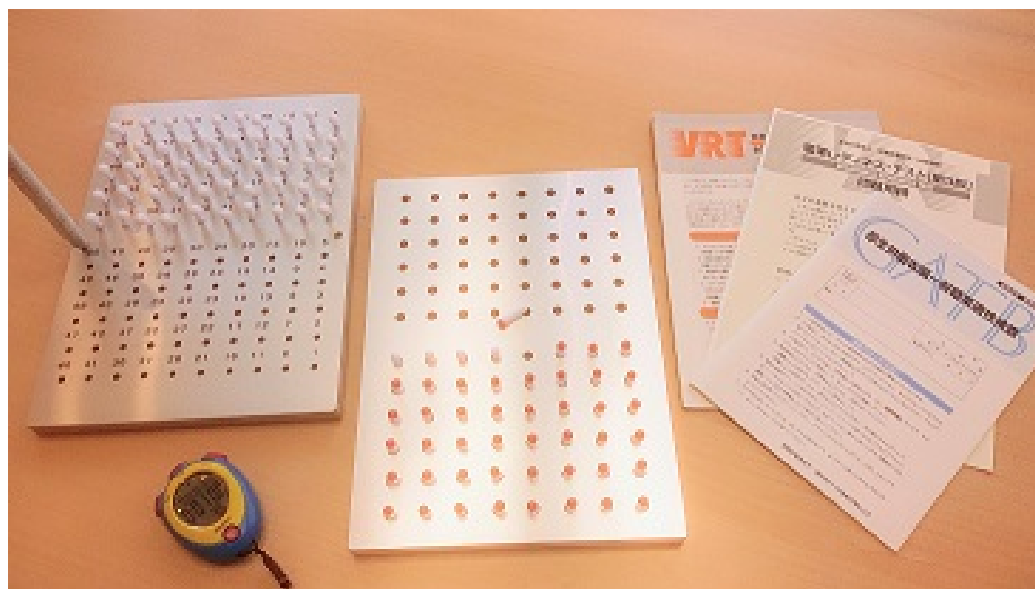


就職先が
決まらず
卒業



第1フェーズではこのように支援しています

- ・ 個別相談
- ・ アセスメントの実施
職業興味テスト (VRT)
職業適性検査 (GAT-B)
- ・ キャリア支援プログラムの開催



障がいや持病のある学生・
就職活動に苦手意識を持つ学生のための

就職・進路ガイダンス

2022年4月26日(火)
14:55~16:25

事前質問受付中!
4/15(金)までに
こちらから!



事前質問74-1

障がいや持病のある方も
障がいがあるかもしれないと感じている方も
進路を考えると不安しかない、と思っている方も



安心して働き続けられる
職場を見つけよう。

障がいや持病があっても 安心して働き続けるための 配慮事項の伝え方セミナー

「合理的配慮」を知っていますか?
障がいや持病などによって生じる、
「できないこと」、「やりにくいこと」、「むずかしいこと」
に対する周囲からの補助のことです。
正しく活用して自分の可能性を伸ばしましょう!



日程 10月27日(木) 14:55~15:55

講師 池田 浩之 先生
国立大学法人兵庫教育大学 / NPO法人 JSN

対象 ※全学年参加可 (1・2年次生も参加可)
障がいや持病のない人と同じように働きたい方



第2 フェーズ：将来をイメージする



来室



個別相談・アセスメント・プログラム等



気づき・自己理解



振返り・励まし・対策



採用選考



個別相談・選考対策



気づき



職場見学・仕事体験
体験記、プログラム等



先輩として
在学生をサポート



内定



イメージを描けるよう支援

個別

卒業



第2フェーズではこのように支援しています

- ・ 職場見学、仕事体験
- ・ 内定者の選考に関する体験記や、就職活動に関するアンケートを公開
- ・ 仕事・職場・働き方の説明会



就職活動完了時のアンケート

【学部】 学部 【障がいの内容】 発達障がい

決定進路	株式会社
採用コース	障がい者対象求人(別途、一般求人がある)
エントリー数 (決定先含む)	1~5社

■進路を決定するうえで特に重視したポイント

- 待遇や福利厚生
- 社風や先輩社員の雰囲気など
- 企業の規模や知名度

(上記以外で進路を決めるうえで特に重視したこと)

給与の額、障害に配慮してもらえるか、自分を強く欲している方向性が一致するか。

■就職活動をはじめると悩んだことや不安だったこと

履歴書に7年の空白が有り、人事の方に書類を見せる度迷惑にならないのかと、初めはそう思っていました。しかし、そして、私が英語を頑張ってきたこと(英検4です)。

■就職活動の最中に特にたいへんだったこと

感情の処理です。例えば、就活イベントなどで、個々の企業とすらしなかった、即受け付けないような態度を示される困りました。しかし、就活をすすめるにつれ、いろいろな価値基準は複数ある事が分かって楽になりました。つまり、企業を評価する会社、英語の成績を評価する会社と、別会社に評価されなくても、体育の成績を評価する会社に評価するのであって、存在を評価しているわけではありませぬわけではあります。

選考体験記

【学部】 文学部 【障がいの内容】 発達障がい 【障がいの手帳】 精神2級

卒業年月: 2023年3月

企業名	株式会社	採用コース	障がい者対象求人(別途、一般求人がある)
この求人の情報源 / サーナ合同企業説明会		エントリーした時期 / 2022年4月ごろ	

選考内容(実際に受けた選考のみ)

説明会への参加がエントリーの必須条件だった筆記テスト・適性テスト:1次面接:2次面接:最終面接;

上記以外の選考項目(実際に受けた選考のみ)

3次面接&筆記試験(クリエイティブな作文 X 2)4次面接&グループワーク

■エントリーシートについて

* エントリーシートの設問について

趣味・特技:希望の配属先や将来やりたい仕事:長所と短所;

* エントリーシートについて上記以外の設問や特徴など

あなたがこだわっている休日ルーティーン、誰にでも悩みを相談できたら誰に何を相談したいかあの時があるから今の自分がいると思うエピソード、現在の就活状況、取得資格

* エントリーシートの選考結果 → → → 通過して次の選考に進んだ

■筆記テストについて

* 筆記テスト・適性テストの種類 → → → 玉手箱;

* 上記以外で受けたテストの種類(名称がわからない場合はテストの特徴)

全学年参加可

障がい者採用について詳しく知るための 仕事・職場・働き方説明会

日程 10月17日(月)~
10月21日(金)

12:00-、13:30-、15:00-、1社につき約60分
※時間割等の詳細は特設サイトをチェック!

オンライン (Zoom開催) 事前申込制
申込・詳細は特設サイトリンクから ↓

【参加企業】






障がい者採用について詳しく知るための仕事・職場・働き方説明会
参加予定または参加検討中の方へ

- 説明会とは・・・
- 「講義」ではない
内容をすべて把握しなければならないという緊張感はありません。
「自分にとって大事なことを聞き取ることができればOK!
 - 「参加」=「この企業の採用選考に進むこと」ではない
難易度が高そうでも候補に入れていなかった企業へ身辺に感じられる点があるかも？
評判が良さそうだが何故良いのかわからない企業→評判より自分の判断基準で選ぼう！
全く関心のない企業→実は自分に向いているところが見つかるかも？
 - 知りたいこと、聞きたいことをあらかじめ書きておこう
自分の仕事、職場、働き方を決めるうえで大事にしたいことはなんだろう？と考えることからスタートしよう。自分が「大事にしたいこと」は、いつでも、どんなことでもOK。
「大事にしたいこと」は、増えたり減ったり変化したりするので、「絶対」じゃなくてOK。

説明会のトリセツ (参加のための事前資料)

- 大事なものは、参加した後
「いろいろ話を聞けたなあ」で終わりにせず、「自分の心に響いたこと」をメモしておこう。
メモの内容は、「就職活動で大層にしたいこと」や「就職活動の軌跡」の要項になるはず。
◆企業ごとの仕事のしんどさと楽しさ、やりがい、など
◆仕事を頑張るモチベーションになりそうなお話、など
◆こんな職場だよね、または、こういう雰囲気は違うな、と思ったポイントなど



第3 フェーズ：適職につながる





第3フェーズではこのように支援しています

- ・ 個別相談
- ・ 選考対策
- ・ 振返り・励まし・対策
- ・ プログラムの開催



安心して働き続けるために必要な配慮事項を考えるシート

障がい種別	中程度の難聴
特性	全体的に聞こえにくい。特に騒音や雑音の中では聴覚障害を併発している人も聞き取りにくい。
大学では	聴覚障害を併発している。授業の進行が一歩遅れに感じ、聞こえにくい時は「もう一度言ってもらう。友人は聞こえやすいように話してくれたり、気づかないと聞いてくれる。
職場では	聴覚障害がなければ気づかれない。古いオフィス、工場など。騒音や雑音が多いと聴覚障害が大きなことを聞き取れず、ミスや事故を発生させたり、社内の人から呼びかけられて気づかないと「聴覚が悪い」と思われる。
自分でできる努力	必要なことほどその都度メモを取り、聞き間違いや漏れが
お願いしたいサポート	業務情報システムの活用を助けていただく。パソコンや多機能機器の活用をお願いする。メモの内容を確認していただく。

自分の今までも振り返ってみましょう。(就職活動でどこまでできるかは、考える必要はありません) 思い出し心に残っていること(いいことも悪いことも、上手くいかなかったことでも) いい思い出 辛かったことや失敗は書きません

いつごろですか?	どんなことですか?	どのように心が残っていますか?
小学生		友達だけで遊ぶ、どう思ったかを書いてください
中学生		
高校時代 1つめ		
高校時代 2つめ		
大学生生活 1つめ		
大学生生活 2つめ		

面接対策メモ

企業名

日時、場所等

企業情報

A 名前

B 企業

C 職種

自己評価

強み

弱み

エピソード

エピソード2

ガクガク

緊張した点

その理由

最大の強み

専攻・行動

得意

苦手なこと

質問

自分の場合について考えてみよう

障がい種別	
特性	
大学では	
職場では	(サポートがなければ)
自分でできる努力	
お願いしたいサポート	

各種ワークシート
(配慮項目・自己分析・面接対策 等)

2024年3月・2023年9月卒予定の障がいのある学生対象(取得予定も可) ※事前予約制

企業の採用担当者による面接体験会&就職相談会

120% **大同生命保険株式会社**

大同生命保険株式会社の採用選考とは関係ありません。金融業界に興味のない学生にとっても、本格的な面接練習ができるチャンスです

日程・場所
今出川キャンパス(寒梅館2F キャリアセンター)
12/16(金)10:00~17:00
(※相談時間は一人1時間程度です。)

コミュニケーションに自信の持てないあなたへ
~外部サポート機関の活用方法について~

2/15 火
14:00~15:30

内容

- ①地域のサポート資源の活用方法
卒業後に利用できる支援機関、在学中に活用できる支援機関
- ②就職活動をするにあたっての準備
自己理解の重要性や方法、その他準備しておくことについて



独自性にこだわっています

**障がいや持病があっても
安心して働き続けるための
配慮事項の伝え方セミナー**

「合理的配慮」を知っていますか？
障がいや持病などによって生じる、
「できないこと」、「やりにくいこと」、「むずかしいこと」
に対する周囲からの補助のことです。
正しく活用して自分の可能性を広げましょう！

日程 10月27日(木) 14:55~15:55
国立大学法人兵庫教育大学 / NPO法人 JSN

講師 池田 浩之 先生

対象 ※全学年参加可 (1・2年次生も参加可)
障がいや持病のない人と同様に働きたい方
障がい者手帳の所持・未所持は問いません


開催方法 オンライン (Zoom開催)
URL:[こちらをクリック](#)
ID: 847 6629 8495
PASS: 130229

申込方法 Forms (URL・QRコード) から申込
申込URL: <https://forms.office.com/r/dRyipRw0Sb>

申込期限 10月24日(月) 17:00
※情報保障が必要な方は
10月20日(木) 17:00までに
キャリアセンターに連絡ください

【問合せ先】
キャリアサポート担当
Mail: career-support@mail.doshisha.ac.jp
Tell: 075-251-3310

同志社大学キャリアセンター



当日参加可

参加へのハードルを下げる工夫

- *障がいのある学生が参加に抵抗のないタイトル
- *当日飛込の参加可、カメラオフでの参加可
- *手帳未取得での参加可 (イベントによっては必要な時もあり)

実施前に質問事項を募り参加者ニーズをとる

- *事前質問は参加企業に共有し、必ず学生に回答する。
- *外部機関や専門家に依頼する際も、本学仕様にカスタマイズする。
- *事前打ち合わせに時間をかけ、学生のニーズを反映させる。
- *職員がファシリテーターとして参加し学生に発言を促す

イベント実施後のフォロー

- *事後アンケートで個別相談に誘導
- *個別相談まで期間が空いてもフォローできるように、参加状況を記録
- *孤立しないよう継続して関わりを持つ



学生の動きと支援の流れはこうなっています

来室促進・情報提供

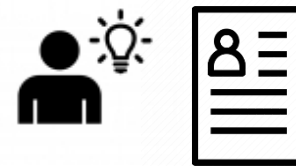


来室



個別相談・アセスメント・プログラム等

プログラム協力



気づき・自己理解

配慮・求人情報



振返り・励まし・対策



採用選考



個別相談・選考対策

プログラム協力

OBOG体験記



気づき



職場見学・仕事体験
体験記、プログラム等

情報共有・心理相談
医療機関へのリファー

既卒支援



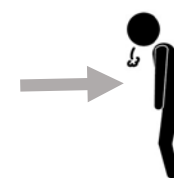
先輩として
在学生をサポート



内定



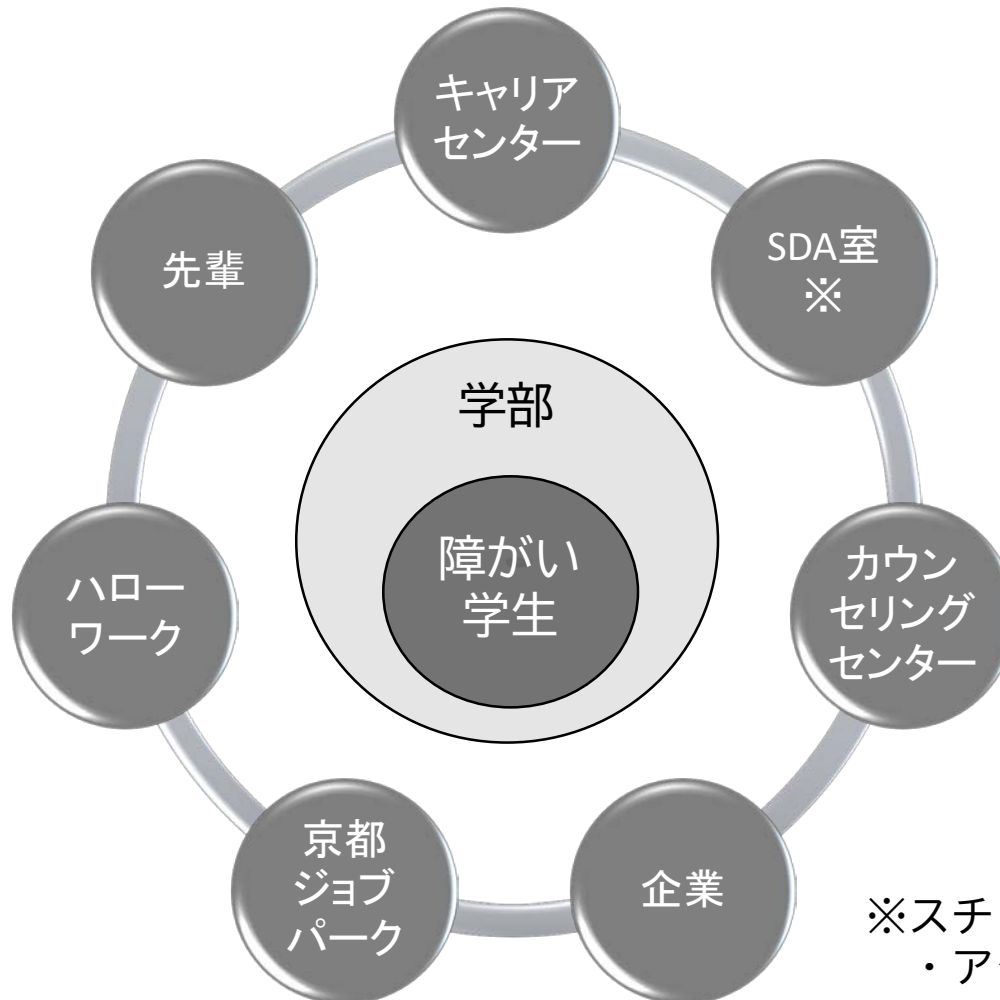
挫折
不調



就職先が
決まらず
卒業



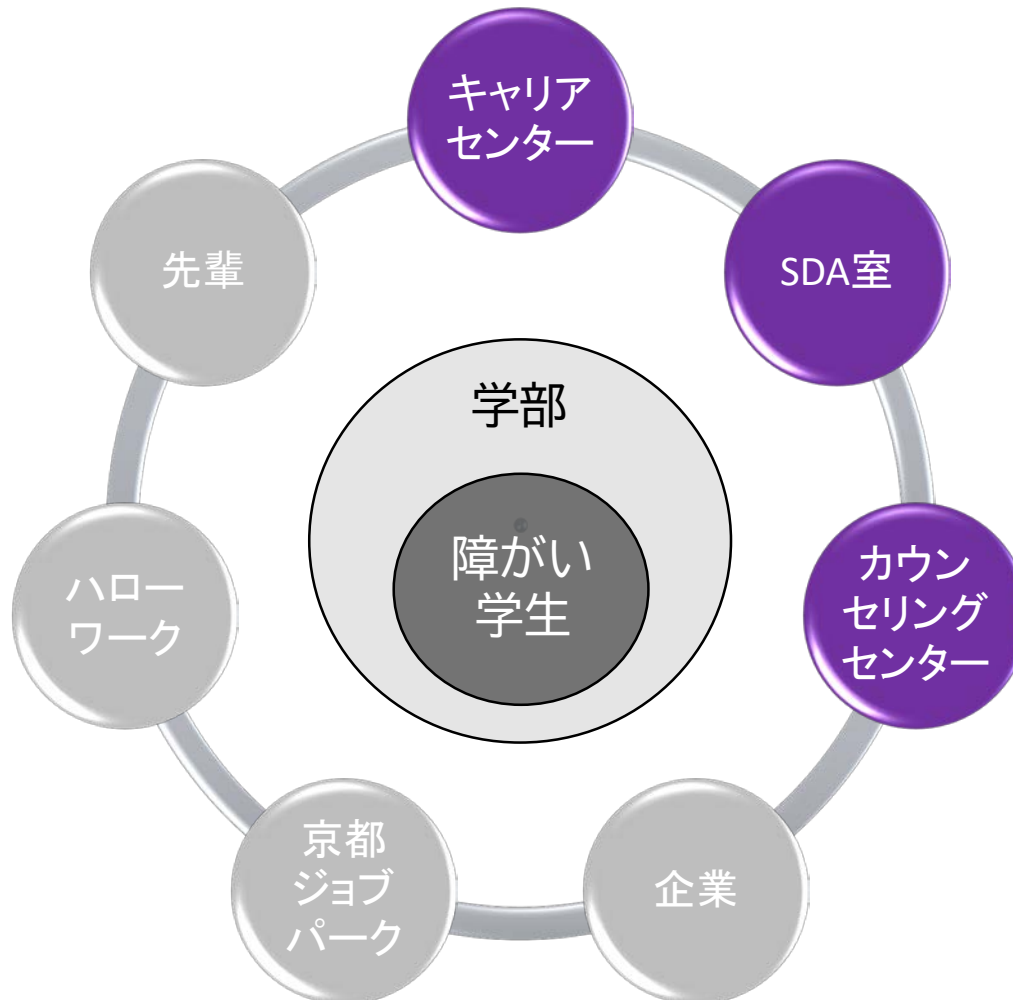
関係者が連携して支援する時代へ



※スチューデントダイバーシティ
・アクセシビリティ支援室



学内での連携





学内の各部署の役割と連携

部署	カウンセリングセンター	スチューデントダイバーシティ・アクセシビリティ支援室 (SDA室)
所管	<ul style="list-style-type: none">・心理相談・コンサルテーション・アセスメント・プログラムの実施	<ul style="list-style-type: none">・修学支援 （合理的配慮に関すること）・SOGI（性的指向・性自認）に関する相談、啓発事業
キャリアセンターとの連携項目	<ul style="list-style-type: none">・学生の紹介・利用学生の相談内容共有※ →共有ファイルを作成し、リアルタイムでの共有が可能・担当者での打合せの実施	<ul style="list-style-type: none">・利用学生の情報を共有※ →キャリアセンターに予約あった際に担当者がすぐに対応可能・キャリアセンター利用ガイド配布 →キャリアセンター利用のハードルを下げる

※学生の上承を得た上で共有



学内の各部署との連携

SDA室で配布しているチラシ（一部抜粋）

SDA室を利用している皆さんへ キャリアセンターはこんなところです。

（障がいのある学生や配慮を希望する学生を対象とした項目を）

各種イベントを実施しています

- ・障がい学生向け就職進路ガイダンス
- ・障がい学生向けインターンシップ
- ・配慮事項の伝え方セミナー
- ・障がい学生向け学内合同企業説明会 等

個別相談ができます（事前予約推奨）

- ・Zoomでの相談も可能
- ・筆談（チャット機能の使用）も可能
- ・個室での相談も可能
- ・専門スタッフが常駐しています

様々な情報が得られます

- ・ハローワーク等の支援機関との連携
- ・企業の採用担当者とのネットワーク
- ・OBOGとの情報交換



就職するかどうかが
決まっていない人も

不安はあるが相談したい内容が
整理できていない人も

ぜひ
活用して
ください！

利用方法は裏面をチェック！！

キャリアセンターHP

<https://career-center.doshisha.ac.jp/subject/di>
メールニュース「キャリアサポート通信」の配信

キャリアセンターの場所

今出川校地：寒梅館2階
京田辺校地：嗣業館1階

メールでの問合せ受付

career-support@mail.doshisha.ac.jp

障がい者手帳を持っていない
（持つ予定がない）人も

障がい者手帳はあるが
就職活動では使いたくない人も

2020～2023年卒の先輩の言葉（全部または一部抜粋）

※これらのコメントをくれた先輩たちは、全員「大変満足」な進路選択をされました。

就職活動をはじめるとき

☆何から始めていいのか分からず、悩みました。特に障がい者採用だったので、情報が少なすぎて苦労しました。マイナビやリクナビを見ても、企業の数が多すぎて、どこにエントリーしたらいいのかわからず困りました。自分のやりたいことが何なのかよく分からず、どの業界の何の職種がいいのかわからず、悩みました。

☆障がいをもっているのもあって、正直全体的に不安でした。

☆履歴書に■年の空白が有り、人事の方に書類を見せる度に罪悪感がよぎりました。このような自分で良いのかと。迷惑にならないのかと。初めはそう思っていました。

就職活動で役に立ったこと

☆普段から自分の悩み事、考えていることを人によく相談していたことが役に立ちました。

☆誰かに面接練習してもらったこと。

☆頻繁にキャリアセンターに通っていたのは良かったです。

☆特にキャリアセンターのほうは何かわからないことや不安なことがあればすぐに相談できる場所なので、そういう窓口が存在している、あるのを意識しているだけでも心強かったです。

後輩学生へのメッセージ

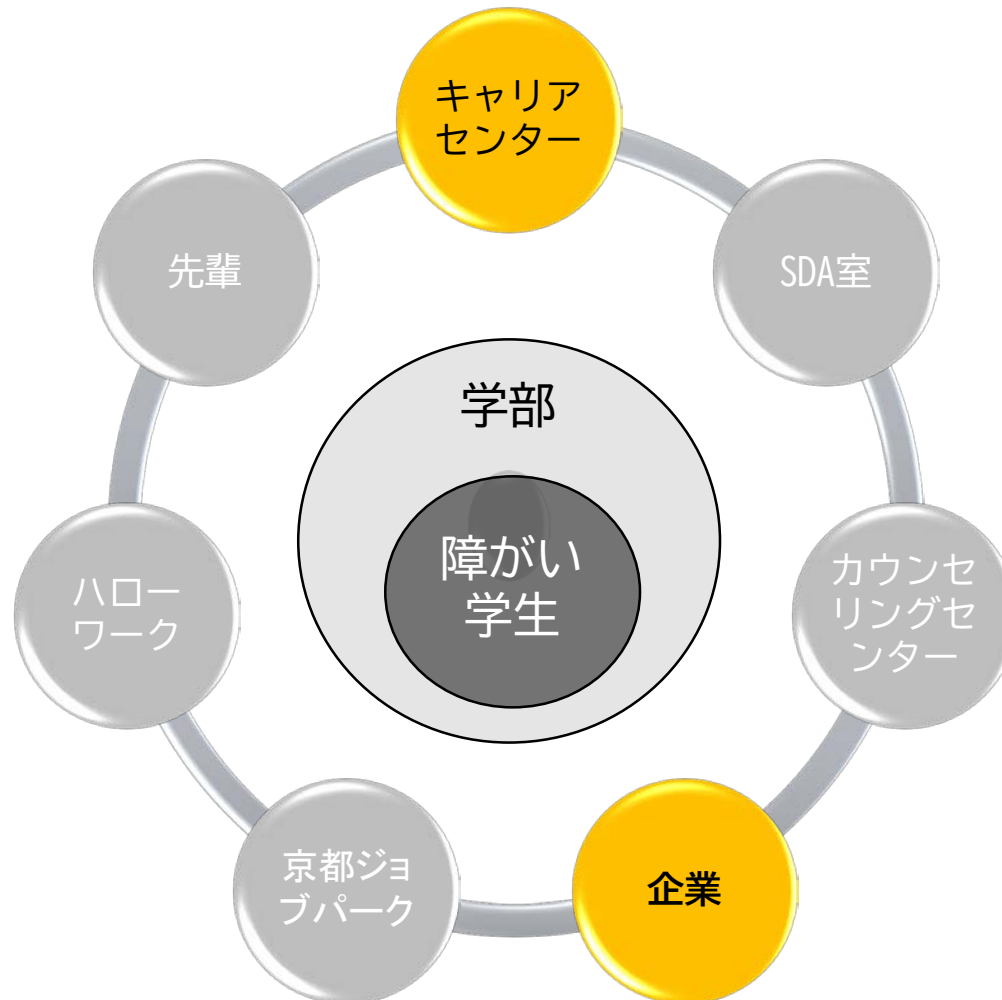
☆適度に休憩をとること、ストレス解消が重要です。体を壊しては元も子もありません。明るく、自分らしく、誠実に

☆就職活動においては、大小様々な失敗を経験することになると思います。もはやこれは宿命かもしれません。ですので、就職活動中は、完璧主義に陥らないことが大事です。失敗して、世界の終わりのように考えないことです。

☆インターンも参加すればするほど、慣れてきてグループワークが上手になってきます。一人で頑張らず、周りを頼りながらやっていくことが大切だと思います。



企業との連携





企業との連携

- ・学内企業説明会の開催
- ・企業による面接体験会 & 就活相談会の開催
- ・定期的な情報交換
- ・学生と企業との**マッチング**の実施

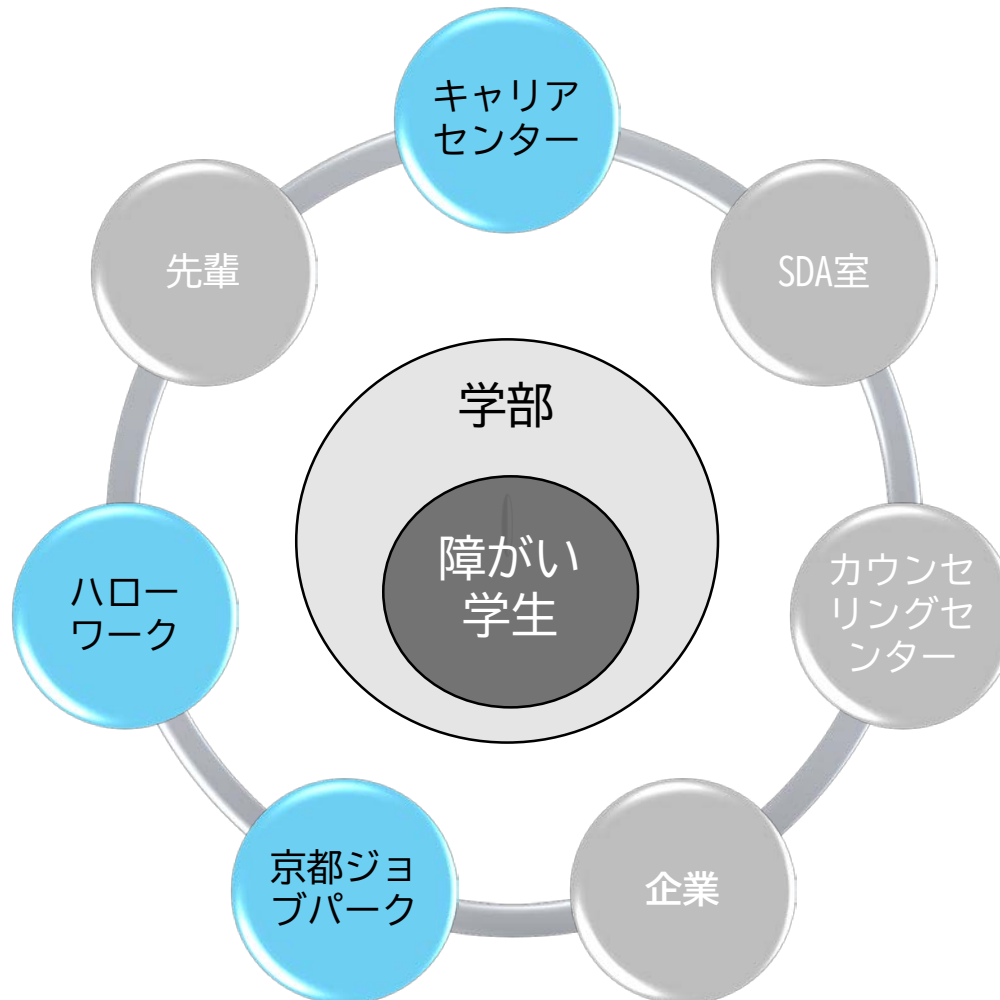


実施事例

- ・キャリアセミナーからの求人受付→マッチング→選考→就職決定
- ・企業説明会からの求人受付→マッチング→選考→就職決定
- ・企業説明会からの求人受付→マッチング→職場体験→選考→就職決定



学外支援機関との連携





学外支援機関との連携

プログラム連携

- ・ 京都ジョブパークとの連携
障がいのある学生インターンシップ事業、採用直結型インターンシップ
- ・ ACE（一般社団法人企業アクセシビリティ・コンソーシアム）との連携
オンラインキャリアセミナー&企業別相談会

➡ アルバイトやサークル、ISの経験が少ない学生にとって貴重な機会

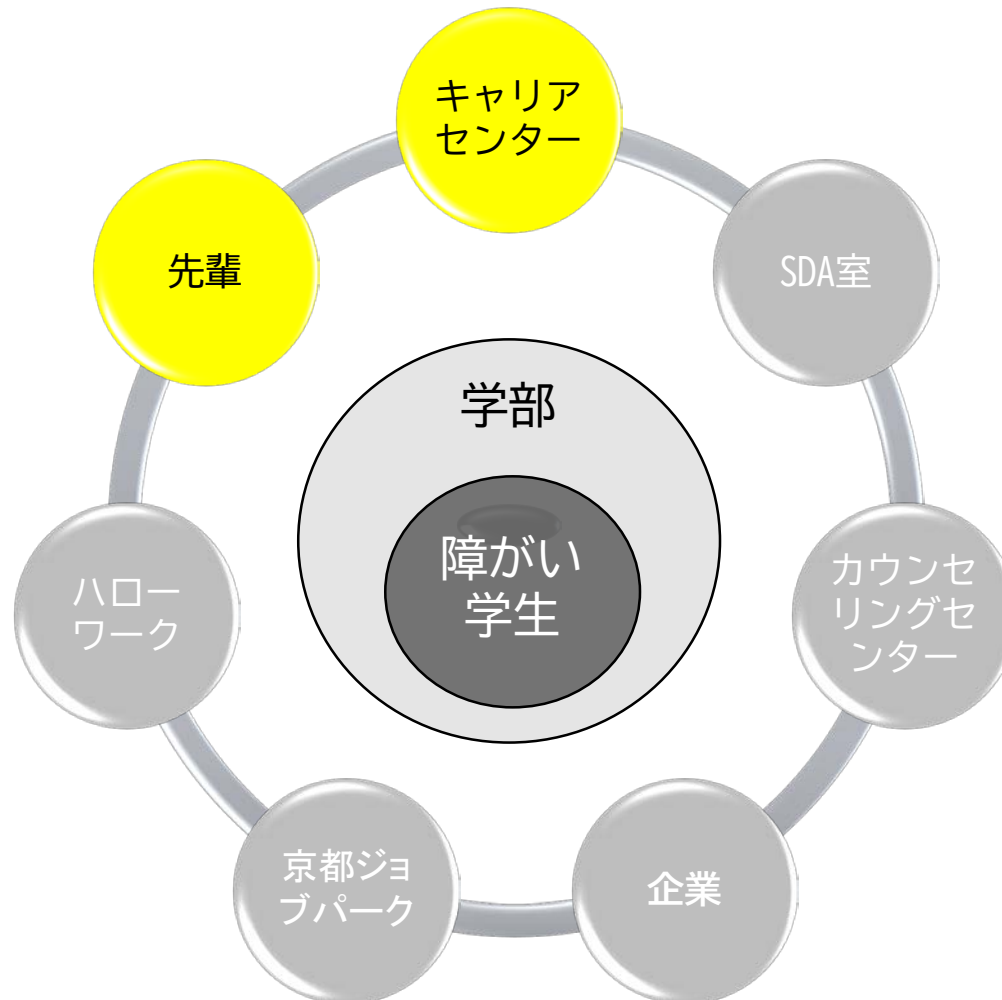
就職活動継続中の学生、既卒者支援の連携

- ・ ハローワーク、京都ジョブパークとの連携
求人やイベント情報の提供、卒業後も就職活動を継続する学生をつなぐ

➡ 卒業後に学生が孤立しないように卒業前から外部機関と連携し、卒業後も学外機関から継続的に支援を受けられるようにする



先輩との連携





先輩との連携

- ・ 選考に関する体験記
- ・ 就職活動に関するアンケート



アンケート回答者全員「キャリアセンターの行事等に協力する」と回答！

卒業後はOBOGとして学内イベント等に協力予定！

選考体験記 卒業年月: 2023年3月

【学部】 文学部 【障がいの内容】 発達障がい 【障がいの者手帳】 精神2級

企業名	株式会社	採用コース	障がいの対象求人(別途、一般求人がある)
-----	------	-------	----------------------

この求人の情報源 / サーナ合同企業説明会 エントリーした時期 / 2022年4月ごろ

選考内容(実際に受けた選考のみ)

説明会への参加がエントリーの必須条件だった。筆記テスト・適性テスト;1次面接;2次面接;最終面接;

上記以外の選考項目(実際に受けた選考のみ)

就職活動完了時のアンケート 【卒業年月】 2023.3月

【学部】 文学部 【障がいの内容】 発達障がい 【障がいの者手帳】 精神2級

決定進路	株式会社	満足度	たいへん満足
採用コース	障がいの対象求人(別途、一般求人がある)	職種等	システムエンジニア

エントリー数 (決定先含む) 1~5社 内定獲得数 1社のみ

■進路を決定するうえで特に重視したポイント

- 1 待遇や福利厚生
- 2 社風や先輩社員の雰囲気など
- 3 企業の規模や知名度

(上記以外で進路を決めるうえで特に重視したこと)

給与の額、障害に配慮してもらえるか、自分を強く欲してくれるか、人事の方との関係性、自分の人生観と、会社の方向性が一致するか。

■就職活動をはじめると時に悩んだことや不安だったこと

履歴書に7年の空白が有り、人事の方に書類を見せる度に罪悪感がはびきました。このような自分で良いのかと、迷惑にならないのかと、初めはそう思っていました。しかし、人事の方は履歴書も重視しますが、人柄も見てくれました。そして、私が英語を頑張ってきたこと(英検準一級、TOEIC840)を高く評価していただくことが多かったです。

■就職活動の最中に特にたいへんだったこと

感情の処理です。例えば、就活イベントなどで、個々の企業のブースに行った際、履歴書の片面を見て(裏返すとすらしなかった)、即受け付けないような態度を示されることも有り、そのような態度をされたときは感情の処理に困りました。しかし、就活をすすめるにつれ、いろいろな会社の人事の方との関係性を築くにつれ、企業によって、評価基準は複数ある事が分かるようになりました。つまり、学校に例えと、算数の成績を評価する会社、体育の成績を評価する会社、英語の成績を評価する会社と、別れているのです。自分が仮に、算数の成績を評価する会社に評価されなくても、体育の成績を評価する会社に歓迎される可能性はあるのです。そして、企業は成績を評価するのであって、存在を評価しているわけではありません。自分の成績が評価されなくても、存在を否定しているわけではありません。

を相談したいか

の配属部署:障



まとめ

来室促進・情報提供

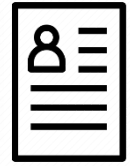


来室



個別相談・アセスメント・プログラム等

プログラム協力



気づき・自己理解

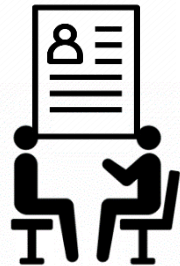
配慮・求人情報



振返り・励まし・対策



採用選考



個別相談・選考対策

プログラム協力

OBOG体験記



気づき



職場見学・仕事体験
体験記、プログラム等

情報共有・心理相談
医療機関へのリファー

既卒支援



先輩として
在学生をサポート



内定



挫折
不調

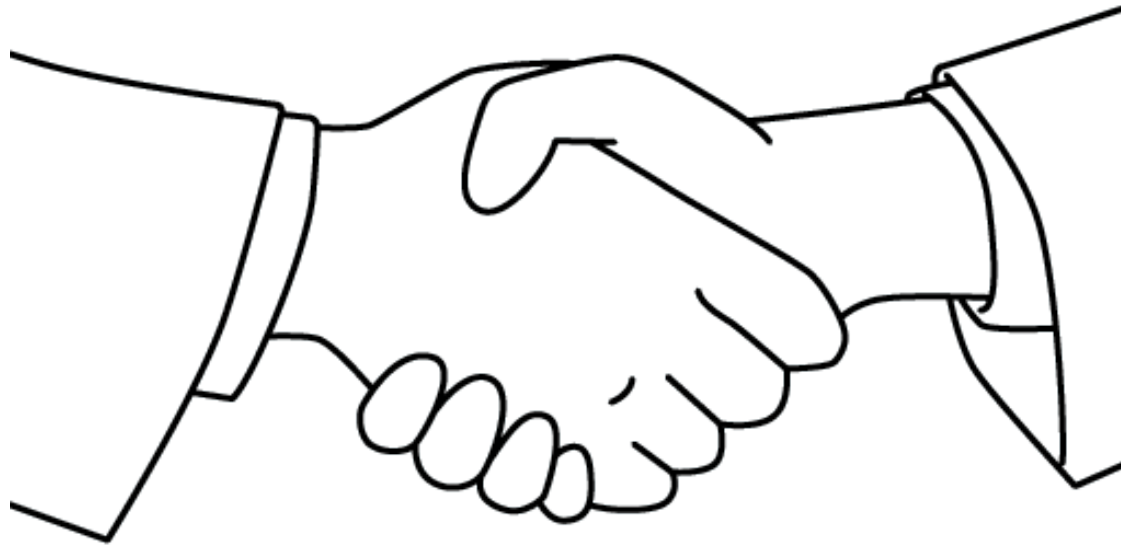


就職先が
決まらず
卒業



特に意識していること

あきらめずにつなぐこと





Contents



- 支援理念・方針、学生、体制
- 職員配置・育成
- 支援内容
- **支援学生の声**
- これから目指す支援



支援学生にインタビュー

文系大学院生A (発達障がいのある学生)

- ・大学院1年次の12月に初来室
- ・2年次生の春は、一般求人に応募
- ・2年次生の夏ごろから、障がい枠求人に応募
- ・2件の内定を得て、12月に進路決定
(大手建設会社)

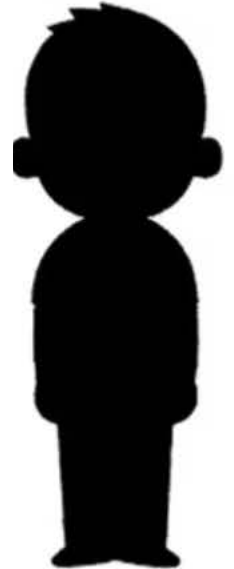




支援学生にインタビュー

文系学部生B (精神障がいのある学生)

- ・3年次の9月に初来室
- ・カウンセリングセンターと情報共有しながら支援
- ・一般求人に応募、1件内定を得るも不安を感じ辞退
- ・11月に障がい枠で活動再開し内定、進路決定(大手インターネット関連企業)





Contents



- 支援理念・方針、学生、体制
- 職員配置・育成
- 支援内容
- 支援学生の声
- **これから目指す支援**



より充実した支援を目指していきます

学内	より確実により多くの学生に展開	ピアサポートの力を活用
	時代とともに支援も変化を求められるため、PDCAを回し、時代のニーズに合った支援をより確実に、さらに多くの学生に展開したい。	コロナ禍で学生同士の縦横のつながりが希薄になっている。つながる仕組みを作り、学生同士で支援し合えるようにしたい。
学外	他大学との連携を強化	企業などへの働きかけを強化
	他大学を巻き込み、複数大学合同での障がい学生のためのキャリア支援プログラムや、合同企業説明会などを開催し、障がい学生支援を充実させたい。	改正障害者差別解消法や改正障害者雇用促進法の施行を機に、これまで以上に、大学と企業で障がい学生の可能性を引き出し、採用につなげる施策を実施する等、企業への働きかけを強化したい。



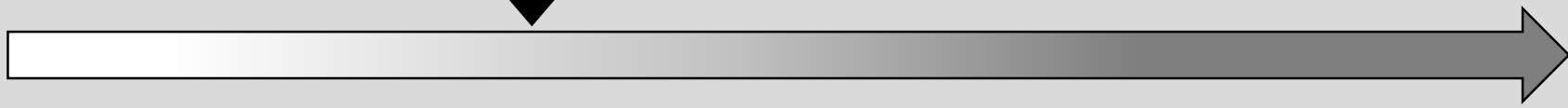
より充実した支援を目指していきます

学内	より確実により多くの学生に展開	ピアサポートの力を活用
	時代とともに支援も変化を求められるため、PDCAを回し、時代のニーズに合った支援をより確実に、さらに多くの学生に展開したい。	コロナ禍で学生同士の縦横のつながりが希薄になっている。つながる仕組みを作り、学生同士で支援し合えるようにしたい。
学外	他大学との連携を強化	企業などへの働きかけを強化
	他大学を巻き込み、複数大学合同での障がい学生のためのキャリア支援プログラムや、合同企業説明会などを開催し、障がい学生支援を充実させたい。	改正障害者差別解消法や改正障害者雇用促進法の施行を機に、これまで以上に、大学と企業で障がい学生の可能性を引き出し、採用につなげる施策を実施する等、企業への働きかけを強化したい。



企業などへの働きかけ

2024年4月



障がい学
生の就職
の後押し

改正障害者
差別解消法

「合理的配慮」が全ての事業者に対して義務付け

改正障害者
雇用促進法

長時間の勤務が困難な場合でも、法定雇用率の算定に加算 (0.5%)

現状	障がい者採用として、改めて業務を切り出さなくとも、少しの配慮で十分に活躍できる学生もたくさん在籍
企業の希望	どんな配慮があればよいのか、聞いてみたい 一度対象学生と話してみたい
施策	大学と企業の情報交換、ISや職場体験等のプログラム提供依頼、個別企業説明会等を実施する等、企業への働きかけを強化する。



同志社から全国の大学へ、そして社会全体へ

同志社大学

企業

他大学

社会

自治体



キャリアセンター

Career Center

ご視聴、ありがとうございました